

大腸内視鏡

診断の基本とコツ



序	田中信治	3
執筆者一覧		8
略語一覧		9

第1章 診断の前に

① 解剖と観察手順	ト部祐司, 永田信二	12
② 所見の読み方	岡 志郎	27

第2章 拾い上げ診断

① 観察にあたっての注意	鳴田賢次郎, 永田信二	33
Q1. 精査中に出血させてしまいました…。リカバリーできますか？		
Q2. 病変は画面のどこにもっていけばよいですか？		
Q3. 病変が接線方向で観察しにくいときは？		
Q4. 蠕動が強いときに写真をきれいに撮るコツは？		
② 病変拾い上げのポイント	樫田博史	43
Q1. スコープ反転操作は有用でしょうか？		
Q2. 先端アタッチメント（フード、キャップ）は有用でしょうか？		
Q3. 他にどんなスコープやデバイスが開発されていますか？		
Q4. 画像強調は病変の拾い上げに有用ですか？		
③ 困った状況を切り抜ける！～観察編～	井出大資, 斎藤彰一	57
Q1. レンズの曇り対策ってありますか？		
Q2. 病変の大きさを測定するコツは何ですか？		
Q3. どうしてもスコープ反転操作ができません。何かよい方法はありますか？		

④ 困った状況を切り抜ける！ ～診断編～ 久部高司 65

- Q1. 正常粘膜に認められる白斑に臨床的意義はあるのでしょうか？
- Q2. WOSと白斑は内視鏡で見え方に違いはありますか？
- Q3. non-lifting signの判定法は？
- Q4. T1癌の浸潤と線維化ではどのように硬さがちがうのでしょうか？

第3章 通常内視鏡診断

① 所見用語の整理 ～肉眼型～ 田中秀典, 岡 志郎 73

- Q1. IIa+IIcとIIc+IIaの違いを教えてください！
- Q2. IIcとIIa+depの違いを教えてください！
- Q3. skirt signって何ですか？

② 所見用語の整理 ～鑑別ポイント～ 林 武雅 81

- Q1. LST-Gの顆粒均一型と結節混在型の鑑別ポイントは？
- Q2. LST-Gの顆粒均一型と迷うLST-NGの診断について教えてください

③ 腫瘍・非腫瘍の鑑別 竹内洋司, 七條智聖 90

- Q1. インジゴカルミンをうまく使うコツを教えてください
- Q2. 腫瘍/非腫瘍の診断に自信があれば、ポリープ切除後に病変を病理診断に提出しなくても大丈夫ですか？
- Q3. 径10 mm以下の小ポリープであればCold Snare Polypectomyで安全に切除できるので、詳細な観察なしですべて切除してもいいですか？

④ 深達度診断 川崎啓祐, 松本主之 97

- Q1. 隆起型と表面型の診断時の注意点はありますか？
- Q2. 生理的なヒダ集中と浸潤によるヒダ集中の違いを見分けるポイントは？
- Q3. インジゴカルミン撒布は必要ですか？

第4章 拡大内視鏡診断

① 所見用語の整理 檜田博史 108

- Q1. 「小型Ⅲ」とは、どんなpitをいうのでしょうか？
- Q2. V_I高度不整所見の重み付け、運用方法は？
- Q3. V_I軽度不整と高度不整、V_I高度不整とV_Nの鑑別のポイントは？
- Q4. インジゴカルミンとクリスタルバイオレットの使い分けは？

② 腫瘍・非腫瘍の鑑別 山野泰穂 115

- Q1. 過形成性ポリープと SSA/P の鑑別のポイントとは？
- Q2. SSA/P と SSA/P with cytological dysplasia の鑑別のポイントとは？

③ 深達度診断 田中寛人, 浦岡俊夫 123

- Q1. V_I 高度不整や V_N (無構造領域) の領域性はどのように評価したらよいですか？
- Q2. クリスタルバイオレット染色の染色不良, 粘液付着と V_N の鑑別法を教えてください
- Q3. 大きな病変の場合, どこを中心に拡大観察すればよいですか？

④ 素朴な疑問 Q&A 佐野村 誠 128

- Q1. プロナーゼ処理は病変に付着した粘液除去に有用でしょうか？
- Q2. 拡大観察にフルズームが必要ですか？
- Q3. Dual focus の利点と欠点について教えてください
- Q4. 通常観察の印象と拡大観察の診断に差があった場合, どちらを重視したらよいでしょうか？

第5章 画像強調拡大内視鏡診断

① 所見用語の整理 住元 旭, 田中信治 137

- Q1. 色素拡大観察と画像強調拡大観察の使い分けについて教えてください
- Q2. surface pattern と vessel pattern の使い分けについて教えてください
- Q3. NBI と BLI では診断能力が違うのでしょうか？
- Q4. 撮影条件ときれいな写真を撮るポイントとは？

② 腫瘍・非腫瘍の鑑別 平田大善, 佐野 寧 149

- Q1. 微小病変における JNET 分類 Type 1 と 2A の鑑別ポイントは？
- Q2. JNET 分類 Type 1 と 2A の鑑別が困難な症例の鑑別ポイントは？

③ 深達度診断 坂本 琢, 齋藤 豊 155

- Q1. Type 2A と Type 2B に区別する意義は？
- Q2. Type 3 はどのくらいの領域があれば有意とするのですか？

④ 素朴な疑問 Q&A 吉田直久, 井上 健 161

- Q1. NBI/BLI 拡大観察所見を習得するコツは？
- Q2. 隆起型病変と表面型病変で所見に違いはありますか？
- Q3. NBI/BLI/LCI は病変の拾い上げ診断に有用ですか？
- Q4. NBI 観察における構造強調や色彩強調の適切な設定は？

第6章 超音波内視鏡診断

- ① 基礎知識 清水誠治 168
- Q. 細径プローブと専用機の違いと使い分けは？
- ② 深達度診断 斉藤裕輔, 小林 裕 173
- Q1. うまく水を溜めるコツについて教えてください
- Q2. 強い屈曲部近傍に位置する病変やハウストラ上・裏側に位置する病変の描出のコツを教えてください
- Q3. 内視鏡で病変が真正面に観察され、HFUPで病変をスキャンすることが困難な場合のコツを教えてください

第7章 標本の取扱い

- ① 標本の取扱い ～正確な病理診断を行うために～ 上杉憲幸, 菅井 有 182

第8章 Case Study

- Case ① 上皮性か？ 非上皮性か？ 斉藤裕輔, 藤谷幹浩 188
- Case ② 上皮性腫瘍？ 非上皮性腫瘍？ 佐野村 誠 194
- Case ③ 内視鏡所見から病理組織像を予測できますか？ 嶋田賢次郎, 永田信二 199
- Case ④ 組織・深達度および治療方針は？ 住元 旭, 田中信治 206
- Case ⑤ 組織型・深達度診断は？ 田中秀典, 田中信治 212
- Case ⑥ この病変は腺腫内癌？ 佐野 互, 佐野 寧 218
- Case ⑦ 診断は？ 河野弘志, 鶴田 修 222

索引 228